

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める要請文等を日本政府に提出しました
- ◆国連事務総長及び各国政府にヒロシマアピールを送付
- ◆9月21日「国際平和デー」記念行事開催の取組
- ◆米国の新たなタイプの核実験に対し抗議
- ◆国連核軍縮に向けた多国間軍縮交渉オープンエンド作業部会が国連総会への報告書を採択
—平和首長会議、バーゼル平和オフィス、核時代平和財団が共同で作業文書を提出
- ◆国連欧州本部（スイス・ジュネーブ市）で平和首長会議の原爆ポスター展を開催
- ◆地中海平和都市会議が開催されます
- ◆イーペル市長及びハラブジャ市長がシリアにおける化学兵器使用に関する意見広告を発表
- ◆加盟都市の活動紹介（八尾市（大阪府）、ボルゴグラード市（ロシア）、レジストロ市（ブラジル）、ラワンズ市（イラク））
- ◆加盟都市5,000突破を記念する原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆8月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：157か国・地域 5,736自治体

=====

- ◆「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める要請文等を日本政府に提出しました
[9月10日]

=====

8月5日に本市で開催した「第3回平和市長会議国内加盟都市会議」の決定に基づき、松井市長（平和首長会議会長）と黒田長崎市東京事務所長が外務省を訪問し、「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進について安倍晋三内閣総理大臣宛ての要請文を岸田外務大臣へ提出しました。また、第8回平和市長会議総会で採択されたヒロシマアピールについても併せて手渡しました。

要請文等を受け取った岸田外務大臣は「広島市、長崎市、平和市長会議の思いを受け止めて、核兵器のない世界の実現を目指し、皆さんと連携を図りながらしっかりと取り組んでいきたい。」と述べられました。

▼詳細記事：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/statement/request/130910_jp/index.html

▼要請文：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/statement/request/130910_jp/request_130910.html

▼ヒロシマアピール：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/statement/request/130910_jp/request_appeal_130910.pdf

=====

- ◆国連事務総長及び各国政府にヒロシマアピールを送付

=====

9月10日、国連事務総長及び各国政府に駐日大使館等を通し、第8回平和市長会議総会で採択したヒロ

シマアピールを送付しました。

=====

◆9月21日「国際平和デー」記念行事開催の取組

=====

国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。また、平和首長会議でもこの趣旨に賛同し、第8回平和市長会議総会で決定した平和首長会議行動計画の中で「全ての加盟都市に対し、9月21日の「国際平和デー」に記念行事を行うよう呼び掛ける」ことが盛り込まれ、松井会長名で全加盟自治体に行事開催を呼び掛けました。

また、岐阜県高山市から、この国際平和デーに関し、加盟自治体に平和への願いと感謝の気持ちを改めて考えるきっかけとして9月21日正午に一斉鐘打を行っていただくよう依頼がありました。

こうした呼び掛けに対し、加盟自治体の皆様には、「国際平和デー」の趣旨をご理解いただき、記念行事開催のご協力をお願いいたします。また、行事開催の折には、ぜひお知らせください。

なお、今年の「国際平和デー」のテーマは「平和のための教育を」です。

【現在予定されている取組例】

(国内)・高山市(岐阜県) 一斉鐘打

・大鹿村(長野県) 黙とう

・本巣市(岐阜県) 一斉鐘打

・長崎市(長崎県) 一斉鐘打

・秋田市(秋田県) 市所管の時鐘及びドイツ・パッサウ市から贈呈された「友情の鐘」の鐘打

(海外)・オレンブルグ市(ロシア) 平和教育に基づく、音楽レッスン、絵画コンテスト、“平和の歌”コンサート等

・トレイル市(カナダ) 9月21日を市の「国際平和デー」とする宣言

・ノースバンクーバー市(カナダ) 9月21日を市の「国際平和デー」とする宣言

・マンチェスター市(英国) 平和歴史会議2013の開催

・イプスウィッチ市(オーストラリア) 市立図書館での核兵器廃絶と戦争終結を訴える展示

その他、ホノルル市(アメリカ)、レジストロ市(ブラジル)、ダブリン市(アイルランド)、リンツ市(オーストリア)、ケアンズ市(オーストラリア)でも黙とうなど記念行事が実施される予定です。

ノースバンクーバー市の宣言及び、マンチェスター市の平和歴史会議のチラシは、平和首長会議ホームページ「加盟都市の活動」コーナーでも紹介しています。

▼ノースバンクーバー市(カナダ)の「国際平和デー」宣言(同市ウェブサイト。英語のみ)

<http://www.cnv.org/~media/1F30D6474EFB4271B325E19CCD5C8C9B.pdf>

▼マンチェスター市(英国)の平和歴史会議2013「第一次世界大戦前の平和・反戦運動—現在への教訓」チラシ

(PDFファイル。英語のみ)

http://www.mayorsforpeace.org/englsih/activities/membercity/2013/130920_Manchester_PHC_Flyer.pdf

=====

◆米国の新たなタイプの核実験に対し抗議

=====

米国が本年5月15日にZマシンを使用した新たなタイプの核実験を実施したことに対し、平和首長会議として、8月20日にアメリカ合衆国政府及び駐日大使館に抗議文を送付しました。

▼抗議文:

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/statement/protest/130820_jp.pdf (日本語)

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/statement/protest/130820_en.pdf (英語)

=====

**◆国連核軍縮に向けた多国間軍縮交渉オープンエンド作業部会が国連総会への報告書を採択
—平和首長会議、バーゼル平和オフィス、核時代平和財団が共同で作業文書を提出
[ジュネーブ市 (スイス) 8月30日]**

=====

8月30日、国連核軍縮に向けた多国間軍縮交渉オープンエンド作業部会(OEWG)が、本年5月、6月、8月に行われた一連の会合での提案や議論をまとめた国連総会への報告書を採択しました。8月28日、同作業部会に参加していた平和首長会議の国連連絡員は報告書の草案に対し、「OEWGは各種提案を統合し、立場を明確にし、対話を広げ、市民団体を含む参加を促した点で特に貢献度が高いが、多国間軍縮交渉を前進させるために国連総会に具体的な勧告を行うという観点からは、更に多くをなさねばならない」と述べました。また、8月22日、バーゼル平和オフィス、平和首長会議、核時代平和財団が共同で、「非政府機関(NGO)の貢献 ギャップを埋め、枠組を構築し、成功を確実にする」と題した作業文書を提出しました。

▼詳細記事：2020ビジョンキャンペーンウェブサイト(英語)

<http://www.2020visioncampaign.org/en/home/artikel/c23946550d38371e67fc54d29150e9d6/open-ende-d-working-group-on-nuclear.html>

▼バーゼル平和オフィス、平和首長会議、核時代平和財団が共同で国連総会に提出した作業文書(国連欧州本部ウェブサイト。PDFファイル。英語)

[http://www.unog.ch/80256EDD006B8954/%28httpAssets%29/58C4DF0D6E3B636CC1257BCC0040A7A4/\\$file/A-AC.281+NGO-02-English-Basel+Peace+office.pdf](http://www.unog.ch/80256EDD006B8954/%28httpAssets%29/58C4DF0D6E3B636CC1257BCC0040A7A4/$file/A-AC.281+NGO-02-English-Basel+Peace+office.pdf)

=====

**◆国連欧州本部で平和首長会議の原爆ポスター展を開催
[ジュネーブ市 (スイス) 8月19日]**

=====

平和首長会議の加盟都市5,000突破を記念した原爆ポスター展が、8月19日～30日、スイス・ジュネーブ市の国連欧州本部で開催されました。19枚のポスターが、国連核軍縮に向けた多国間軍縮交渉オープンエンド作業部会の会期にあわせ、会場前のロビーに展示され、参加者に核兵器がもたらす非人道的な結果を伝えました。

▼詳細記事：2020ビジョンキャンペーンウェブサイト(英語)

<http://www.2020visioncampaign.org/en/home/artikel/2192a2fa0cf6045a722cda21bd066588/mayors-for-peaces-5000-milestone.html>

=====

◆地中海平和都市会議が開催されます [9月19～21日、オーバーニュ市 (フランス)]

=====

第8回平和市長会議総会で採択された行動計画に盛り込まれた「地域での活動の活発化」の一環として、副会長都市であるビオグラード・ナ・モル市(クロアチア)、グラノラズ市(スペイン)、及びフランス平和首長会議会長都市であるオーバーニュ市が共催して、9月19日～21日、オーバーニュ市において地中海平和都市会議が開催されます。地中海地域23か国の平和首長会議加盟都市等が集まり、核軍縮と平和を推進するための都市の役割、地中海地域における平和首長会議の活動の推進などについて幅広く議論されます。小溝泰義平和首長会議事務総長、副会長都市のハラブジャ市(イラク)の市長も参加予定です。

▼関連情報(英語のみ)

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/memberscity/2013/130919_conference_of_cities_for_peace_in_the_mediterranean.htm

▼会議公式ウェブサイト(フランス語、スペイン語、英語)

<http://peacecities2013.wordpress.com/>

=====

◆イーペル市長及びハラブジャ市長がシリアにおける化学兵器使用に関する意見広告を発表

=====

1915年と1988年にそれぞれ化学兵器による攻撃を受けた平和首長会議副会長都市であるイーペル市（ベルギー）及びハラブジャ市（イラク・クルド地域）の市長が、シリアでの化学兵器使用に対し、「シリアの都市を攻撃目標とするな」と訴える意見広告を発表しました。

▼意見広告全文（2020ビジョンキャンペーンウェブサイト。PDFファイル。英語のみ）

http://www.2020visioncampaign.org/fileadmin/user_upload/2020VC/Home/Op-ed_Syria.pdf

=====

◆加盟都市の活動紹介

=====

*八尾市（大阪府）

八尾市非核・平和都市宣言30周年記念『平和のつどい』（8月9日開催）

約850人の市民が来場し、市立高美中学校生徒による『ヒロシマ平和学習の報告』の発表や戦場カメラマン渡部陽一さんの講演等に熱心に耳を傾けました。また、「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める署名活動が実施されました。

▼関連情報（八尾市ウェブサイト）

<http://www.city.yao.osaka.jp/0000023050.html>

*ボルゴグラード市（ロシア）

8月6日追悼式典（8月6日開催）

原爆犠牲者を追悼する式典が、「スターリングラードの戦い」パノラマ博物館で行われ、市長、元市長、市内の学校の生徒、市の代表等が参加し、8時15分に平和の鐘を鳴らし、黙祷をしました。また生徒たちは、広島で犠牲となった子どもたちを追悼するために、折鶴を鐘の下に捧げました。

▼関連情報（PDFファイル。英語のみ）

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/membercity/2013/130806_volgograd_memorialceremony/report.pdf

*レジストロ市（ブラジル）

平和灯籠流し（8月17日開催）

今年で5回目となる平和灯籠流しを実施し、市内40の学校から約300人の生徒が集まり、平和を求める歌を合唱し、原爆犠牲者の追悼と世界平和を祈り、リベイラ川に灯籠を流しました。

▼関連情報（PDFファイル。英語のみ）

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/membercity/2013/130817_Registro_Tooro_Nagashi_of_Peace.pdf

*ラワンズ市（イラク）

第8回総会に参加しての市長のコメントが寄せられました。

▼コメントの内容（日本語訳）

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/2013/130810_rwandz_message.html

その他、国際平和デーの取り組みの記事で紹介した、ノースバンクーバー市（カナダ）の宣言、マンチェスター市（英国）の会議のチラシ、オーバーニュ市（フランス）で開催される地中海平和都市会議についても平和首長会議ホームページの活動紹介コーナーで紹介しています。

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/index.html>

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

◆加盟都市 5,000 突破を記念する原爆ポスター展を開催しましょう！

平和首長会議では、加盟都市 5,000 突破を記念した原爆ポスター展を、国内外の加盟都市をあげて取り組んでいます。オーストリア・ウィーン市での開催を皮切りに、現在までに新宿区（東京都）や堺市（大阪府）、イギリス・ロンドン市、ロシア・ボルゴグラード市、アフガニスタン・カブール市など、250 を超える自治体がすでに開催しています。このうち国内では、新たに赤穂市、姫路市（兵庫県）、東松山市（埼玉県）、王寺町（奈良県）から 8 月に開催報告が届き、国内の実施自治体は 247 になりました。海外では、上述のスイス・ジュネーブ国連欧州本部の他、ロシア・リペツク市でも 8 月に開催されました。ぜひポスター展開催にご協力ください。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>.

※ポスター概要：標準サイズ A2 版、18 枚＋参考情報 1 枚

※この原爆ポスター展は、一昨年 11 月にスペインのグラノラズ市で開催した理事会及び昨年 1 月に開催した国内加盟都市会議において、加盟都市 5,000 突破を記念して、全加盟都市を挙げて新たなスター展を開催することとした決議に基づくものです。また、第 8 回総会で決定した行動計画でも、引き続きこのポスター展の拡大に取り組むこととしています。

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

2020 年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、一昨年 11 月の理事会及び昨年 1 月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は第 8 回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2013 年 9 月 1 日現在、806,533 筆の署名が集まっています。

全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。（署名はインターネットからも可能です。）

▼署名用紙（PDF）

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/11_petitionform_jp.pdf.

▼オンライン署名

<https://www.ssl-hiroins.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>.

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1333414321137/index.html>.

◆8 月の平和首長会議会長訪問

=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、8月に次のような外国人来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組および加盟要請への協力をお願いしました。

*8月6日(火) ファルク・アーミル駐日パキスタン・イスラム共和国大使

*8月21日(水) エンリケ・ロマン・モレイ ペルー国連代表部常駐代表

*8月22日(木) ディーパ・ゴパラン・ワドワ 駐日インド大使

*8月24日(土) クリシュナ・ハリ・バスコタ ネパール連邦民主主義共和国首相府次官

▼関連情報：広島市/日々の動静—2013年8月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1375352357141/index.html>

=====

◆平和首長会議加盟自治体数：157か国・地域 5,736自治体

=====

皆様のご理解とご協力により、今月24都市が新たに加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は9月1日現在で5,736自治体(157か国・地域)となりました。

このうち日本国内では、埼玉県志木市など新たに6自治体が加盟し、国内の加盟自治体数は1,366自治体です。

海外については、NGOカメルーン開発連盟の協力によりカメルーンから4都市加盟したほか、テヘラン平和博物館の加盟要請活動により、先月に引き続きイランから3都市、イタリアの平和団体や2020ビジョンキャンペーンの要請活動により、イタリアから3都市がそれぞれ加盟しました。また、ピースボートやファンダシオンサダコ等の団体の協力により、メキシコ、アルゼンチンの都市がそれぞれ加盟した他、オーストラリア、ドイツ、パラグアイ、スリランカ、イギリスからも新たに自治体が加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしく申し上げます。

▼9月1日付新規加盟自治体一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2013/newmembers1309_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、
連絡先変更等は下記までご連絡ください***

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp